



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月10日

上場会社名 株式会社コンフィデンス・インターワークス 上場取引所 東
コード番号 7374 URL https://ciw.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤岷 宣之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理管掌 (氏名) 永井 晃司 TEL 03(5312)7700
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	6,380	18.7	1,009	12.7	1,017	20.7	855	56.3
2024年3月期第3四半期	5,377	39.3	895	20.7	843	13.7	547	8.7

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 852百万円 (55.7%) 2024年3月期第3四半期 547百万円 (8.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	137.80	136.40
2024年3月期第3四半期	95.59	93.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	6,438	5,602	86.4
2024年3月期	7,184	5,970	82.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 5,565百万円 2024年3月期 5,939百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
2025年3月期	—	30.00	—		
2025年3月期（予想）				35.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	20.2	1,400	17.1	1,401	22.6	1,082	49.2	172.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	6,664,777株	2024年3月期	6,655,177株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	538,032株	2024年3月期	6,300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	6,207,430株	2024年3月期3Q	5,726,771株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価並びに経済共に概ね日銀の想定通りに堅調に推移しており、日銀の物価安定目標を維持しつつ緩やかな景況感の上昇基調を示しました。大企業製造業は改善傾向、非製造業は高水準にて概ね横ばいを示す結果となりました。

大企業製造業では、設備投資関連需要や自動車生産の回復が改善に寄与しており、海外需要の伸び悩みや原材料・エネルギーコスト高が懸念されるものの、引き続きIT関連需要や自動車生産の回復が期待されております。

非製造業では、価格転嫁の進展が期待されるものの、原材料・エネルギーコスト高・人手不足や人件費増が引き続き懸念されております。

喫緊の利上げ後も政策金利はスイスと並び世界最低が続き、消費者物価の上昇率は3年近く日銀目標の2%以上で推移しており日銀が重視する賃金と物価の好循環が強まる中、市場の関心は次の利上げの時期とペースに移っております。

日銀では、実質金利は大幅なマイナスが続き、緩和的環境は維持されると指摘しており、経済・物価・金融情勢次第ながらも新たに示した経済・物価見通しが実現すれば、利上げで緩和度合を調整していく方針を維持しております。

また、当社グループ全体の事業領域である人材ビジネス市場の状況は、2024年11月の完全失業率（季節調整値）は2.5%（前年同月2.5%、前月2.5%）、有効求人倍率（季節調整値）は1.25倍（前年同月1.28倍、前月1.25倍）、新規求人倍率（季節調整値）は2.25倍（前年同月2.26倍、前月2.24倍）の国内雇用状況であり、一時的な下落傾向を経て、高水準にて堅調に推移しております。

当社グループの主要な事業である「HRソリューション事業 人材派遣・受託」が主にサービス提供を行っているゲーム業界においては、国内ゲーム市場は2兆1,255億円となっており前年比4.6%増と伸張、一方で、世界のゲームコンテンツ市場規模は29兆5,162億円となっており同一為替レートでは前年比3.1%増（出典：ファミ通ゲーム白書2024）、国内ゲーム市場は堅調に推移しており、特に家庭用ゲームハードが前年比27.5%増と大きな伸びを示しております。

しかしながら、所謂「巣籠り特需」の反動に加えて、物価の上昇に伴う消費の防衛意識が高まる中で投資効率の意識が高まり、「プチ贅沢」を嗜好する消費者のマインドシフト等の影響により、ゲームソフト・アプリケーションにおいてはモバイルを中心としたソーシャルゲーム並びにコンシューマーゲーム共に多くのデベロッパー各社が苦戦を強いられております。

このような環境の中、当社グループの「HRソリューション事業 人材派遣・受託」では、ゲーム会社各社の業績が軟調に推移しているものの主力のゲーム会社向け派遣事業において配属者数を拡大するため、新規取引先の開拓のみならず、既存取引先のさらなる深耕を継続して取り組んでおります。

また、「HRソリューション事業 人材紹介」及び「メディア&ソリューション事業」では、雇用環境の情勢を反映して業績は堅調に推移しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高6,380,954千円（前年同期比18.7%増）、営業利益1,009,761千円（前年同期比12.7%増）、経常利益1,017,676千円（前年同期比20.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益855,375千円（前年同期比56.3%増）となりました。

報告セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<HRソリューション事業 人材派遣・受託>

主要な事業である「HRソリューション事業 人材派遣・受託」におきましては、主力のゲーム会社向け人材派遣サービス、並びにゲーム会社を中心とした顧客からの受託サービスを展開しております。

「HRソリューション事業 人材派遣・受託」では、中長期的には成長が見込まれているゲーム市場に対して、安定的な事業の継続拡大を企図して、ゲーム業界の大手並びに中堅企業への網羅的な求人獲得活動の継続、ゲーム業界志望者に対する効率的なマーケティング活動の実施、業界向けイベント開催を通じた当社認知度の向上等に取り組んでおります。

人材派遣サービスにおいては、ゲームソフト・アプリケーション市場がモバイルを中心としたソーシャルゲーム並びにコンシューマーゲーム共に多くのデベロッパー各社が苦戦を強いられる状況下、当社もクリエイター配属数が減少しており、市場全体として苦戦している状況にあります。

このような状況に対し、ゲーム及びエンターテインメントの周辺領域への取り組み、商圏の拡大を企図した取り組みである関西圏及び九州圏への進出、また、取り扱う契約形態の多様化観点からフリーランスマッチング市場への参入を進め、売上基盤の拡大に努めております。

クリエイター配属数を増加させるため、引き続き、新規取引先の開拓に加え、既存取引先の部署別・タイトル別開拓を行うことにより、受注案件数の拡大を図っております。クリエイターの採用市場においては、採用媒体の選定や採用広告の出稿配分を最適化することにより、ゲーム会社からの需要に応えられるクリエイターを採用しており、これに加えて、自社の求人メディアを開設することにより求職者の応募チャネルの増加を図っております。

受託サービスにおいては、主にゲームタイトルのデバッグ業務を受託しており、守秘性が高いことから、新宿区に専用オフィスを設置しております。

現在稼働中の案件は安定的に推移しており、人材派遣事業との連携を図り、新規案件のリード獲得数増加に努めております。

これらの結果、当セグメントの業績は、売上高4,091,958千円（前年同期比1.8%減）、セグメント利益955,415千円（前年同期比11.4%減）となりました。

<HRソリューション事業 人材紹介>

「HRソリューション事業 人材紹介」におきましては、メーカー・建設・不動産・エネルギー・IT・ゲーム・エンタメ等の業界を中心とした顧客企業に対して、アッパーミドル層を中心とした高いプロフェッショナル性を持つ求職者を紹介する職業紹介サービスを展開しております。

「HRソリューション事業 人材紹介」の市場において、構造的な労働力不足を背景に、国内企業における人材ニーズは各業界共通して高水準が維持されている反面、賃上げなどによる待遇改善が進んでいることから転職市場における人材の流動性が鈍化しております。

この市場動向に対して、採用ニーズの高い企業向けの専任アカウンティングチームを編成、独自の求職者獲得施策を進めることにより生産性を向上させ、1社当たりの取引総量増加に向けた活動を強化しております。

これらの結果、当セグメントの業績は、売上高1,133,175千円（前年同期比81.8%増）、セグメント利益405,658千円（前年同期比119.5%増）となりました。

<メディア&ソリューション事業>

「メディア&ソリューション事業」におきましては、製造業界・工場に特化した求人メディア「工場ワークス」を運営しております。

また、受託・その他のサービスとして、長年にわたり積み重ねたノウハウとHRTechを活用した採用アウトソーシングコンサルティングにより、企業の採用課題の解決を支援するサービス等を展開しております。

「メディア&ソリューション事業」の主な市場において、製造業全体の景況は改善傾向を示すと共に自動車生産の回復が期待されており、非製造業も懸念事項が多いながら概ね景況は堅調であり、人材の獲得が困難な状況が継続しております。

また、新卒・中途のいずれの採用領域も既存の求人メディアのほかダイレクトリクルーティングサービスや人材紹介サービス、SNS系スカウトサービスなど様々な転職支援サービスが立ち上がり（「メディアとプラットフォームの分散化」）、求職者側の転職行動が多様化し人材の獲得難に拍車がかかる状況となっております。

メディアサービスにおいては、「応募者対応」組織を設置し、希望条件に合った求人案内や面接対策・書類作成支援など転職応募から面接・採用に至るまでの応募者対応サービスを展開し、SNSを活用した集客プロモーションとコミュニケーションツールの導入を進め、求職者との接点量拡大とLTV向上によるユニークユーザー数の拡大を図り、集客チャネルが多様化する中で集客効率の高いチャネルを見極めて費用投下し、緻密なアロケーションを実施することで広告プロモーション適正化を図っております。

採用支援サービスにおいては、業務シェアリングとプロジェクト間の人材ローテーションを実施し、業務プロフェッショナル人材の育成に取り組んでおります。

これらの結果、当セグメントの業績は、売上高1,155,820千円（前年同期比96.6%増）、セグメント利益395,337千円（前年同期比155.1%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて745,993千円減少し、6,438,568千円となりました。これは主に、自己株式取得、配当金の支払、及び納税等を反映した現金及び預金の減少460,511千円、売掛金の減少100,986千円、償却を反映したのれんの減少123,735千円、及び東京オフィス移転に伴う差入保証金の減少113,698千円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて377,625千円減少し、836,297千円となりました。これは主に、納税を反映した未払法人税等の減少214,227千円、並びに未払消費税の減少41,328千円、支給による賞与引当金の減少90,044千円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて368,367千円減少し、5,602,271千円となりました。これは、主に利益剰余金の増加472,222千円、自己株式の取得851,077千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の82.7%から86.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年11月19日の「通期業績予想の修正および連結子会社の異動(株式譲渡)に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,089,380	3,628,869
売掛金	818,642	717,655
未収入金	5,462	62,549
その他	100,161	202,555
貸倒引当金	△5,212	△465
流動資産合計	5,008,434	4,611,164
固定資産		
有形固定資産		
建物	123,452	68,140
減価償却累計額	△55,943	△12,191
建物(純額)	67,508	55,948
工具、器具及び備品	97,268	78,117
減価償却累計額	△69,604	△41,848
工具、器具及び備品(純額)	27,663	36,269
有形固定資産合計	95,172	92,217
無形固定資産		
ソフトウェア	146,091	103,183
のれん	1,539,817	1,416,082
無形固定資産合計	1,685,908	1,519,265
投資その他の資産		
投資有価証券	15,000	15,000
繰延税金資産	151,604	83,668
差入保証金	224,133	110,434
その他	4,331	12,050
貸倒引当金	△22	△5,232
投資その他の資産合計	395,046	215,921
固定資産合計	2,176,127	1,827,404
資産合計	7,184,561	6,438,568

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	3,159	2,249
買掛金	83,755	56,532
未払金	225,063	197,165
未払費用	326,041	320,967
未払法人税等	231,617	17,390
未払消費税等	154,827	113,498
預り金	29,776	63,233
契約負債	1,245	2,101
返金負債	7,818	6,042
賞与引当金	142,088	52,044
その他	—	1,000
流動負債合計	1,205,394	832,225
固定負債		
長期借入金	8,529	4,072
固定負債合計	8,529	4,072
負債合計	1,213,923	836,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	520,784	523,590
資本剰余金	3,893,706	3,896,178
利益剰余金	1,535,227	2,007,450
自己株式	△10,143	△861,220
株主資本合計	5,939,574	5,565,997
新株予約権	27,403	36,155
非支配株主持分	3,660	117
純資産合計	5,970,638	5,602,271
負債純資産合計	7,184,561	6,438,568

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	5,377,382	6,380,954
売上原価	2,954,414	3,181,106
売上総利益	2,422,968	3,199,847
販売費及び一般管理費	1,527,218	2,190,086
営業利益	895,750	1,009,761
営業外収益		
受取利息及び配当金	42	410
受取家賃	1,205	1,836
助成金収入	279	6,520
その他	262	283
営業外収益合計	1,789	9,050
営業外費用		
支払利息	37	70
支払手数料	53,501	943
その他	678	121
営業外費用合計	54,217	1,135
経常利益	843,322	1,017,676
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	—	181
特別利益合計	—	181
特別損失		
固定資産除却損	—	1,942
事務所移転費用	4,507	14,428
関係会社株式売却損	—	8,509
特別損失合計	4,507	24,880
税金等調整前四半期純利益	838,814	992,977
法人税、住民税及び事業税	219,179	72,989
法人税等調整額	72,232	67,935
法人税等合計	291,411	140,925
四半期純利益	547,402	852,052
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△3,322
親会社株主に帰属する四半期純利益	547,402	855,375

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	547,402	852,052
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	547,402	852,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	547,402	855,375
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△3,322

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式530,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、単元未満株式の買取りと併せて自己株式が851,077千円増加し、当第3四半期連結累計期間において自己株式が861,220千円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	41,886千円	78,063千円
のれんの償却額	68,741千円	123,735千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益 計算書計上額 (注) 2
	HRソリューション事業 人材派遣・受託	HRソリューション事業 人材紹介	メディア& ソリューション 事業	計		
売上高						
人材派遣	4,017,162	—	—	4,017,162	—	4,017,162
職業紹介	—	623,249	—	623,249	—	623,249
求人広告	—	—	431,508	431,508	—	431,508
受託・その他	149,044	—	156,417	305,461	—	305,461
顧客との契約から生じる 収益	4,166,207	623,249	587,925	5,377,382	—	5,377,382
外部顧客への売上高	4,166,207	623,249	587,925	5,377,382	—	5,377,382
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,166,207	623,249	587,925	5,377,382	—	5,377,382
セグメント利益	1,078,512	184,781	154,997	1,418,291	△522,541	895,750

(注) 1. セグメント利益の調整額△522,541千円には、のれんの償却額27,496千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用495,044千円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益 計算書計上額 (注) 2
	HRソリューション事業 人材派遣・受託	HRソリューション事業 人材紹介	メディア& ソリューション 事業	計		
売上高						
人材派遣	3,909,519	—	—	3,909,519	—	3,909,519
職業紹介	7,321	1,133,175	588	1,141,085	—	1,141,085
求人広告	—	—	839,169	839,169	—	839,169
受託・その他	175,116	—	316,063	491,180	—	491,180
顧客との契約から生じる 収益	4,091,958	1,133,175	1,155,820	6,380,954	—	6,380,954
外部顧客への売上高	4,091,958	1,133,175	1,155,820	6,380,954	—	6,380,954
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,091,958	1,133,175	1,155,820	6,380,954	—	6,380,954
セグメント利益	955,415	405,658	395,337	1,756,410	△746,649	1,009,761

(注) 1. セグメント利益の調整額△746,649千円には、のれんの償却額49,494千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用697,154千円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。